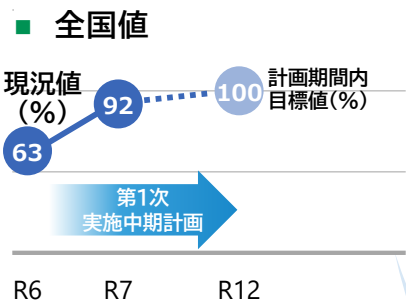


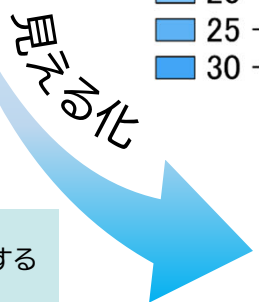
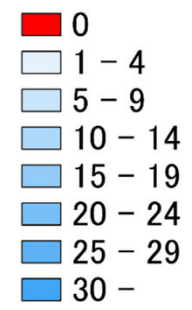
【94】医療コンテナの活用【厚生労働省】

指標名：可動性のある医療コンテナを有する三次医療圏(全52医療圏)の割合

※災害時の利活用方法について厚生労働科学研究等を通じ検討を進めつつ、R12以降も各都道府県全体で各二次医療圏1基以上に相当する個数の医療コンテナ(災害時に利用可能な可動性を有するもの)の保有を目指す等導入拡大を図る。



■ 都道府県別
※三次医療圏で有する可動性のある医療コンテナ数



■ 指標の定義

((可動性のある医療コンテナを保有する三次医療圏の数) / (全三次医療圏の数)) × 100

■ ポイント

医療コンテナの整備により、災害時に迅速に医療体制を立ち上げることができる。

■ 用語解説

- 医療コンテナ
…コンテナ等の中に医療資機材を搭載しており、運搬が可能で現場での建設や機器設置等を省略できるため、医療機能を素早く立ち上げ、展開することが可能。
- 三次医療圏
…特殊な医療を提供する単位として設定。46都府県に1つずつと北海道に6つで合計52。

